

長崎県佐々町で「耕作放棄地解消イベント」に参加

平成28年6月11日(土)と10月29日(土)に佐々町役場(長崎県北松浦郡佐々町)が開催した耕作放棄地解消イベントにFFGの行員(親和銀行佐々支店の行員等)が参加しました。今回はその活動内容をご紹介します。

■佐々町の地方創生に向けたイベントに参加

農業従事者の高齢化等を背景に、全国的に耕作放棄地面積は増加傾向にあり、佐々町にも約31万㎡(東京ドーム約7個分の広さ)の耕作放棄地が存在しています。佐々町では地方創生の実現に向けて主要産業である農業への新規参入・移住促進に取り組んでおり、その受け皿となる農地を確保するための取り組みの一環として、佐々町役場が今回の耕作放棄地解消イベントを企画。町内にある耕作放棄地を活用し、地元の人たちが手作業で開墾と田植え、そして稲刈りを行いました。

親和銀行佐々支店の行員を中心としたFFGの行員とその家族約20名が本イベントに参加し、地元の人達と一丸となって泥まみれになりながら、一生懸命取り組みだ結果、最終的に356kg(約6俵)のお米

を収穫することができました。そして、稲刈りが終わった後は、解消した耕作放棄地で作った新米で握ったおにぎりが振舞われ、参加者全員でおいしくいただきました。

■今後も地元金融機関として地方創生に積極的に関与

FFGは今後も「あなたのいちばんに。」というブランドスローガンのもと、地元金融機関として地方創生に向けた様々な活動に積極的に参加し、地域の皆様とともに地域の活性化に全力で取り組んでまいります。





田植えの様子



稲刈りの様子